

第3回新居浜市福祉のまちづくり推進懇話会議事録

日 時：平成22年11月12日（金） 13：30～15：30

場 所：総合福祉センター第1研修室

出席者：明智 恭平、岡崎 克也、白石 文男、田中 真澄、小野 和子、
河端 幸枝、近藤日左臣、大橋 勝英、和田 卓巳、和田輝世伸、
佐々木俊洋、明智 美香

計 12名

（オブザーバー）ジェイエムシー株式会社 武内

（事務局）近藤 清孝、神野 洋行、岡 素子、岡松 良二、
高城 秀明、石川 貴弘、伊藤 微笑、横山 倫代

議事内容：

1. 開会

2. 議 事 内 容

（1）施策展開協議

新居浜市地域福祉推進計画の骨子案資料に基づき、計画の基本理念、基本方針の事務局案について説明を行った。引き続き、基本目標及び基本施策を網羅した施策体系図と計画の骨子について説明を行った。

これらの説明に対する各委員からの意見は次のとおりである。

- ・心身障害者福祉センターの建て替えは確定なのか。
→平成23年度から32年度の第5次長期総合計画の中で建て替えの具体的な計画はない。計画の前期に大規模改修を行い、32年度まで現在の建物を使う予定にしている。
- ・大規模改修や建て替えを行う際には利用者の意見をしっかりと聞いて、建物だけが立派という状態にならないようにしていただきたい。
→心身障害者福祉センターについては、部屋をもう少し効率的に使えないかという意見がある。大規模改修を実施する際には、事業の内容、部屋の構造等を再検討したいと考えている。
- ・聞いたところによると新築をするのに順番待ちだと聞いた。
→福祉のまちづくり審議会での古い福祉施設について優先順位をつけて検討した結果、一番は慈光園、次に若水乳児園・若宮保育園の建て替えが決まった。心身障害者福祉センターはその次かその次の次になる。
- ・老朽化が激しいように思えるが大丈夫か。
→大規模改修では主要な構造は残るが、かなりのことができる。
- ・使い勝手の悪い部屋があり、建て替えを希望する。順番を入れ替えることはできないか。
→慈光園は既に建て替えを行っている。若水乳児園・若宮保育園については、築50年以上が経過した木造ということで優先された。財政的に余裕がないため、建て替え事業を複数同時に行うことはできない。建て替えには設計期間もあるため最低

2年にかかる。若水・若宮の次はまだ決まっていないが、東新学園の老朽化も進んでおり、また24時間生活する施設である。心身障害者福祉センターの老朽化についても十分認識しているが、建て替えまでに大規模改修で施設の寿命を延ばして使っていこうと考えている。建て替えかリニューアルかという検討は行う予定である。

・改修の中身は決まっていぬのか。

→予定では平成23年度で設計を行う予定である。設計をする中で中身について決まってくると思う。

・体系図の基本方針「I生涯を健やかに過ごす、健康なまちづくり」というのが、骨子案の12Pの「1こころとからだ元気で、健康なまちづくり」というのと合致していない。

→長期総合計画の50P「施策4-1健康づくりと医療体制の充実」の「望ましい姿：生涯を健やかに過ごすことができる体制をつくります」というのに合わせて文言を変えた。体系図の文言に骨子案を変更するのが事務局案である。

・長期総合計画の59Pの成年後見制度について教えてほしい。

→認知症の方など財産管理ができない場合、色々なトラブルが起こることがある。成年後見制度というのは管財人、管理人を法律で定め、その方が財産の管理を行うという制度である。

・成年後見人は弁護士になるのか。

→弁護士や社会福祉士が多い。

・成年後見人はボランティアか。

→有料である。大変有意義な制度であるが、なり手が少ない。

・市の窓口相談すればよいのか。

→地域包括支援センターや社会福祉協議会へ相談してほしい。手遅れになっていることが多いので、なるべく早く相談してほしい。最終的には家庭裁判所が判断することとなる。

・基本方針には「健やか」や「安心」や「やさしい」など心の問題の言葉が多いが、これらが無くなったのは教育の問題ではないかと思う。これからの子どもたちを育てる教育の問題が大事であり、見直していただきたい。

→教育については、資料には入っていないが、家庭・地域の教育力の向上ということで、中でも家庭教育が重要ではないかと思う。体系図の「IVすべての人の権利と責任を大切に、生きがいあふれるまちづくり」の「2自分たちのまちは自分たちでつくろう」の「(1)次世代につなぐ福祉教育・学習の推進」の中に家庭教育の課題を盛り込みたいと考えている。

・資料を受け取ってから時間がほとんどなく、まだ見れていない。

→この場で意見や疑問点がない場合でも後でゆっくり見ていただいて、何かあれば連絡していただきたい。

・本日「民生委員って何？」という資料をお願いして入れてもらった。子育て、障害者、高齢者の見守り、ボランティアなど福祉計画の骨子のほとんどのところに民生委員は関わっている。前回の会議で民生委員って何をしているんだろう、という意見があったため、資料を配布した。民生委員がしていることについてご理解いただきたい。

- ・もっとPRをした方がいいのではないか。
- ・民生委員の活動は個人情報保護法に阻まれて活動が制限されているが、もっと立ち入っていいのではないかと思うことがある。

→国の方でも、今年の高齢者の所在不明問題によって、個人情報の保護だけを言っているのはダメだ、ということで、ある一定のルールの下で情報公開をしようという動きは出てくるのではないかと思います。

- ・マンションやアパートへ引っ越してきた老人の情報はなかなか入らない。

→説明が漏れていたが、国の方から地域福祉推進計画の中に高齢者不明問題への対応についても盛り込んでもらいたいという通知があったので、適切な施策に盛り込みたいと考えている。

- ・入れるとしたらどこになるか。

→「Ⅲやさしきで人がつながり、ともに支え合うまちづくり」の「1みんなで共に助け合い、支え合おう」の「(1)地域福祉活動の推進」になるかと思う。

- ・長期総合計画の93Pの地域再生への体制づくりの主な取組事業の中で「別子山お試し移住体験の実施」というのがあるが、今具体的に何かやっているのか。

→現在はなっていないと思うが、23年度からの計画期間の中でやっという計画があるものと思われる。

- ・住宅がなければ移住はできないと思うので、住宅の整備の方もなんとかしていただきたい。現在、別子山の小中学生は7名でそのうち中学生は5名である。2～3年のうちに中学生は卒業してしまい、中学校は閉校、小学生は角野小学校まで通わなければならなくなる。逆に市内の不登校の子供をバスに乗せて別子山の学校に通ってもらおうとか、そういったことも考えていただきたい。

→現在、小中学校では校区選択制があり、隣の学校に行くこともできるが、別子山小中学校については希望があれば新居浜市全体から通学することができる。別子山は先生の数に対して子供の数が少ないため、充実した教育ができるということもあり、実際に不登校の子供さんが通学しているケースがある。

- ・2～3年後に中学校の閉校というのが待っているため、色々考えていただきたい。
- 担当部署にご意見を伝えます。

- ・子宮頸がんのワクチンは5カ年計画に入っていないのか。

→国の予算が通れば県内統一した形で実施していくこととなっている。

(2) 今後のスケジュールについて

今回はたたき台としての骨子案であったが、次回の第4回では素案を示したい。長期総合計画については12月議会に上程することとなっており、12月16日が議会の最終日となっているため、その次の週に第4回の会議を開きたいと考えている。